

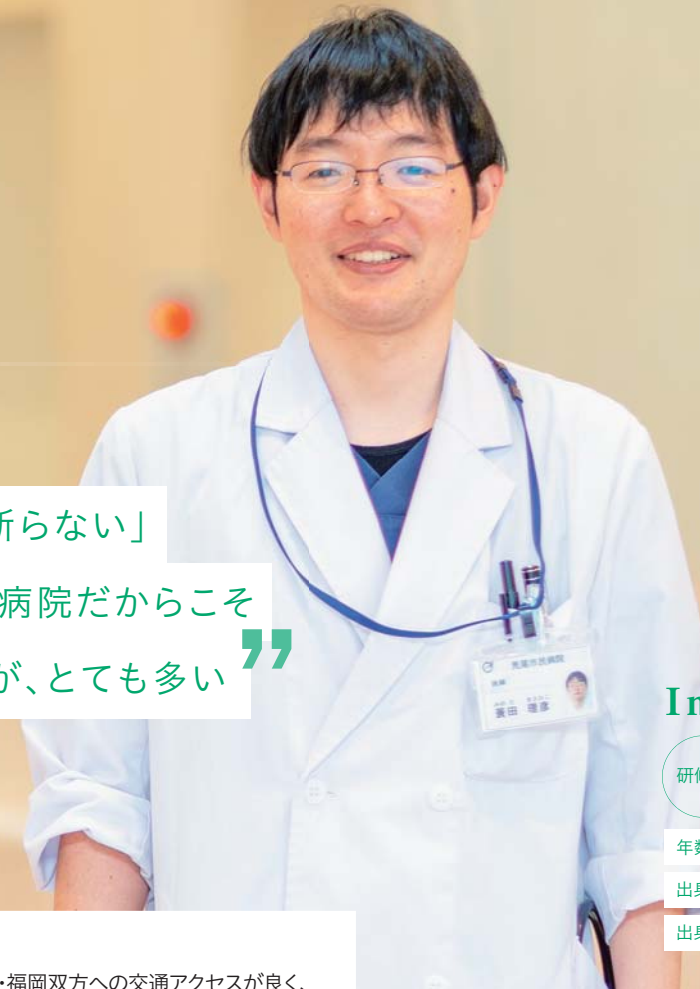
市民を愛する 市民に愛される 病院へ

荒尾市民病院

KUMAMOTO CLINICAL TRAINING HOSPITAL GUIDE BOOK RESIDENT

12 ARAO MUNICIPAL HOSPITAL

“ 「救急車を断らない」
地域の市中病院だからこそ
学べるものが、とても多い ”



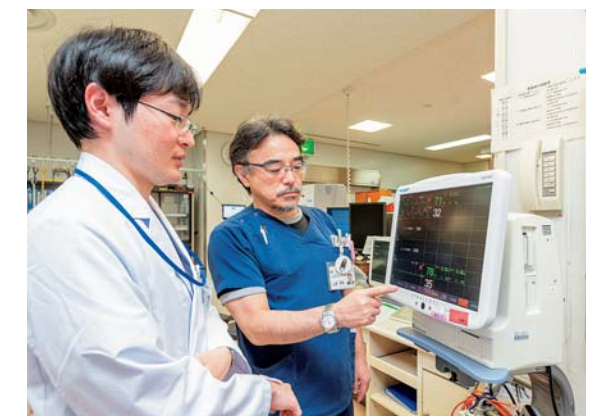
Interview

研修医 荻田 理彦
MASAHIKO MINODA

年数 / 臨床研修医2年目
出身大学 / 熊本大学
出身地 / 熊本県八代市

「荒尾市民病院」は、熊本・福岡双方への交通アクセスが良く、研修プログラムで日本医科大学附属病院の救命救急科での研修も選べるのが魅力でした。また、研修医が少ない市中病院であり、自分から前に出るタイプではない私もしっかり実践的に学べそうだったことも、大きなポイントです。当院での研修は、症例数は多すぎず少なすぎず丁度いいので、消化不良になることなく、症例レポートにもじっくり取り組みます。少人数制で「自分がやるしかない」環境のため、CV挿入も適度に回ってきたりと、手技の機会も豊富です。上級医も「この手技を経験した方がいいよ」と他科でも関わらずに実践させてくれます。また、当院は5万人規模の都市でありながら救急専門医が2名おり、他の専門科の先生方もプライマリ・ケアや救急の対応力とスピードが素晴らしいです。救急車を断らない“2.5次救急”的な対応を行う病院なので、救急外来ではファーストタッチから様々な症例を経験できました。加えて、看取りや死亡宣告など、医師として避けられない場面も任せられました。現場で鍛えられたことで、自分の見解を持って診療に当たることができるようになってきたと思います。

当院では、自分のペースや希望に応じた研修が可能です。研修医のやる気に応じて環境を整えてくれる懐の深さもあります。地域医療や総合医療を実践的に学び対人、とにかく臨床で多く学びたい人にとって、理想的な研修のステージです。



●指導医からのコメント
当院では二次救急医療機関としてCommon Diseaseから、重症外傷例や敗血症例にも対応。脳卒中・心筋梗塞・急性腹症・多発外傷は24時間体制が整っています。救急疾患の患者さんの初期診療～退院まで全般に携わる研修内容も特徴です。興味のある人はぜひ、見学に来ませんか？熱心な指導医がお待ちしています！

荒尾市民病院
救急科部長(救急専門医)
松園 幸雅
Yukimasa Matsuzono

2022年に新病棟が完成予定 歴史と実績のある救急・高度医療を

当院は荒尾市唯一の急性期病院で、自治体病院として、また、有明地域の中核病院として、市民はもとより有明地域住民の医療の安心と安全、健康の維持増進のため、最新の高度で良質な医療の提供を行っています。特にウォークインで来院される救急患者の中に含まれる三次救急の患者を見落とさないことが重要と考え指導を行っています。地域住民に必要とされ、信頼される、そして支えられている“いい病院づくり”に全職員一丸となって励んでいます。



2017年度病院実績



ARA0 MUNICIPAL HOSPITAL

荒尾市民病院

2019年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ



■初期臨床研修 週間スケジュール

1年次: 診療科目 / 内科

期間	月	火	水	木	金
午前	外来と病棟研修を中心にスケジュールを組みます。また、科の特性により手術、透析、お産等があります。				
午後	※研修医自ら希望を設定できるように調整いたします。				

■初期臨床研修 年間スケジュール

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	救急科			内科								外科
場所	荒尾市民病院・日本医科大学付属病院(救急救命科)			荒尾市民病院・米の山病院・大牟田天領病院(呼吸器科)						荒尾市民病院		

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	麻酔科	産婦人科	精神科	小児科	選択研修					地域医療	選択研修	
場所	荒尾市民病院	荒尾市民病院・協力施設*1	荒尾こころの郷病院・有働病院	荒尾市民病院・協力施設*2	荒尾市民病院・協力施設*3 (研修医と打ち合わせの上決定します。)					新生翠病院・米の山病院	熊本大学医学部附属病院を除く医療機関	

*1 協力施設 / 大牟田市立病院

*2 協力施設 / 熊本大学医学部附属病院・大牟田市立病院

*3 協力施設 / 熊本大学医学部附属病院(呼吸・神内・小児・泌尿・耳鼻)・日本医科大学付属病院(救急救命科)・大牟田市立病院・大牟田天領病院・荒尾こころの郷病院・米の山病院・新生翠病院・有働病院

後期研修

総合医として、「日常的な病気の診断と治療」「患者の最善利益を考え、問題に対処できる能力」「院内チーム医療のマネジメント」「在宅医療・健康増進・疾病予防に寄与」が目的です。
当院では2コース準備しています。「標準コース(総合医希望者)3年」「リフレッシュコース(新規開業等)8か月」

荒尾市唯一の急性期病院として、救急医療から専門医療まで研修可能

■目的

- ①一般的な診療において頻繁に行われる負傷又は疾病に適切に対応できるような基本的な診察能力(態度、技能、知識)を身に付けさせること。
 - ②医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、医師としての人格を涵養し、人間性、社会性にも重点をおいた良質な医療を学ばせること。
- ### ■特徴
- ①地域の中核病院における救急医療研修を通して、幅広い分野における症例を救急専門医の指導のもと数多く経験できることで、基本的な救急処置技術を習得することができます。
 - ②痼疾患等の専門性の高い医療を経験することにより医療の可能性と限界を理解し、併せて将来の専門分野の選択にも役立たせることができます。
 - ③地域の医療機関、診療所、予防医学等の院外での地域医療を経験させ、地域に根ざしたプライマリ・ケアを習得することができます。
 - ④カンファレンスや臨床病理検討会等に参加することにより、多様な疾病の多面的な捉え方を学ぶことができます。
 - ⑤リスクマネジメントや感染対策等の院内会議に参加することにより、患者の安全を第一に考える医療を学ぶことができます。



病院概要(2018年度時点)

研修・
認定施設の
一覧はコチラ



DOCTOR	医師数 48名	INTERN	研修医数 7名	ADVISOR	指導医数 29名	SICKBED	病床数 274※床
--------	------------	--------	------------	---------	-------------	---------	--------------

標榜科

内科、外科、産婦人科、小児科、整形外科、循環器内科、リハビリテーション科、麻酔科、呼吸器内科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、脳神経内科、消化器内科、形成外科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、緩和ケア内科、救急科、病理診断科、放射線治療科、画像診断・治療科、眼科、精神科

専門医

外科7名、整形外科3名、脳神経外科2名、放射線治療科1名、放射線診断科1名、産婦人科2名、麻酔科3名、血液内科1名、循環器内科3名、救急科1名、小児科1名、病理診断科1名、糖尿病・内分泌内科1名、脳神経内科2名、腎臓内科1名、皮膚科1名、総合内科5名、透析1名、消化器病1名、消化器内視鏡3名、心血管インターベンション1名、消化器外科5名、緩和医療1名、食道1名、脊椎脊髄1名、熱傷1名、外傷1名、プライマリケア1名、社会医学系1名

認定医

内科11名、がん治療4名、消化器がん外科治療4名、内視鏡外科技術認定2名、心血管インターベンション2名、リハビリテーション1名、運動器リハビリテーション1名、リウマチ1名、プライマリケア1名、人間ドック1名

※病床数274床のうち、一般270床、感染症4床



研修医募集要項

応募資格	医師国家試験合格見込みの方
応募締切	詳細は応募連絡先にご連絡ください
試験日程	詳細は応募連絡先にご連絡ください
試験内容	論文・面接
給料	1年次 月額/約550,000円(総支給額) 2年次 月額/約580,000円(総支給額) ※当院規程による(正職員)
諸手当	賞与(年2回)、医師業務、超過勤務、住居、通勤、扶養等(常勤医師と同じ)、退職手当有り
年次有休休暇	有(年間20日)
宿舎	有(民間アパート借上げ)、家賃補助8割(最大4万円)
保険	熊本県市町村職員共済組合
医師賠償責任保険	病院加入有、個人加入任意(個人負担)
当直回数	2~4回/月(希望により変更可能)

所在地	〒864-0041 熊本県荒尾市荒尾2600番地
担当部署	総務課
TEL	0968-63-1115(内線)511
FAX	0968-63-1189
E-mail	hospital@city.arao.lg.jp
URL	www.hospital.arao.kumamoto.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
www.hospital.arao.kumamoto.jp/
recruit/recruit03.html

